

八重洲地下街



地下街としての規模が日本で二番目に広い日本屈指のショッピングモール「ヤエチカ」。

昭和 30 年代半ば、首都圏では交通渋滞が深刻な社会問題となり、駐車場を地下に開発する計画が実施された。

しかし、予想以上に費用がかさみ、1軒でも多くの店を開き、開発費用の回収を試みた。

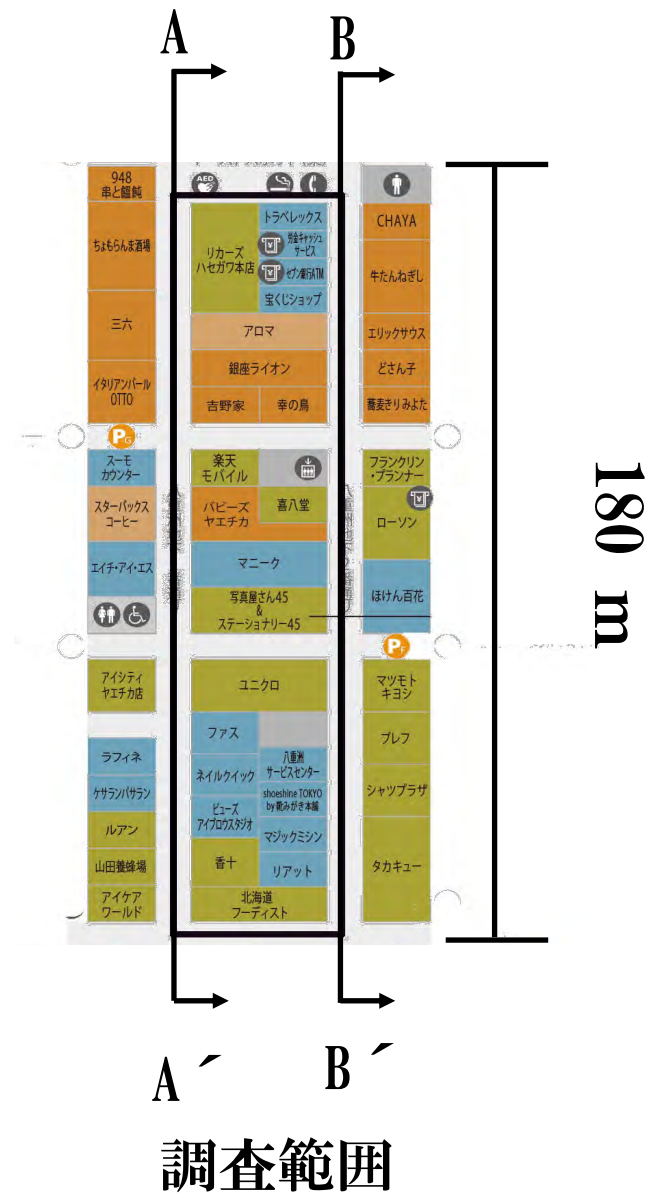
その結果、わずかな空間を有効活用しようと、斜めの天井や細長い形の興味深い空間が生まれている。

17N1034 工藤 大河

17N1084 野村 直人

17N1085 原田 建人

17N1088 平井 優斗

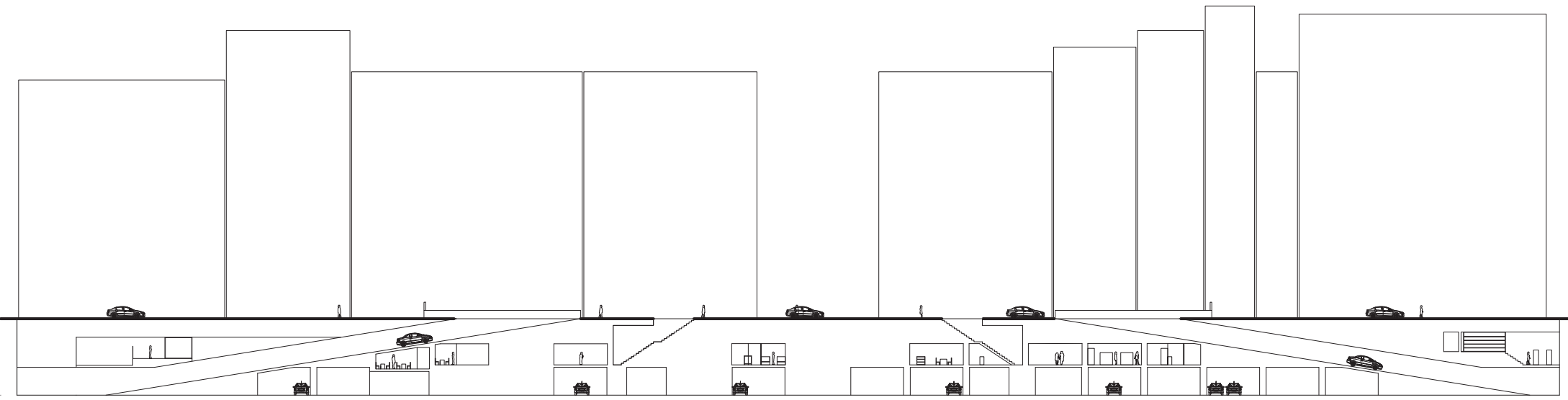


八重洲地下街 全体図

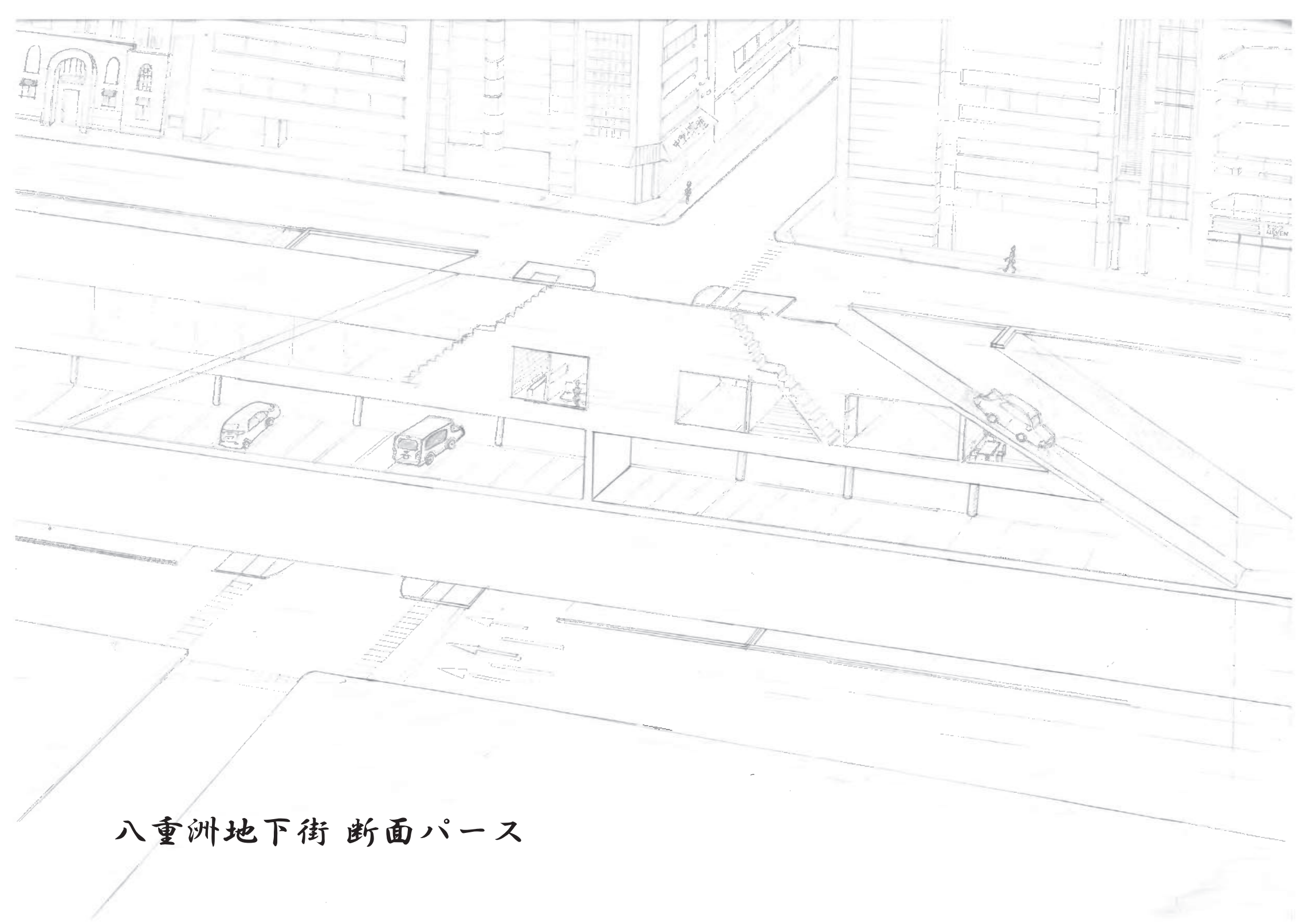
調査範囲



AA' 断面图

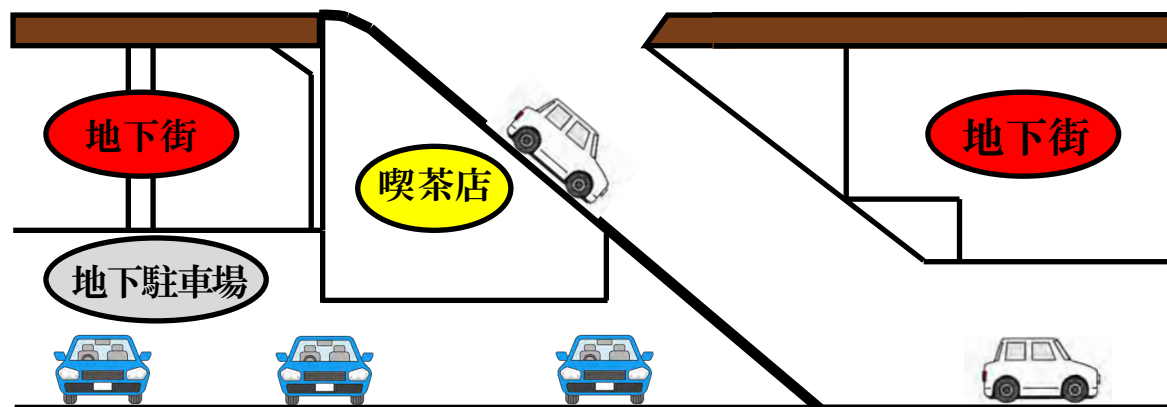
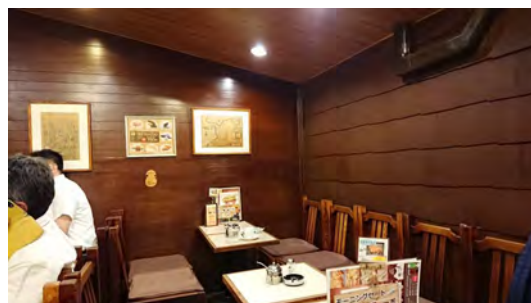


BB 断面图



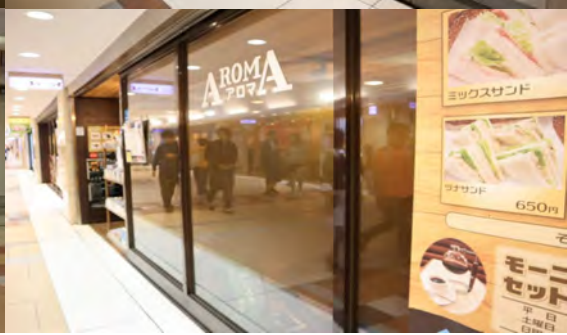
八重洲地下街 断面パース

・スロープによって生まれた特殊な空間



「床を一段下げて
有効活用する」

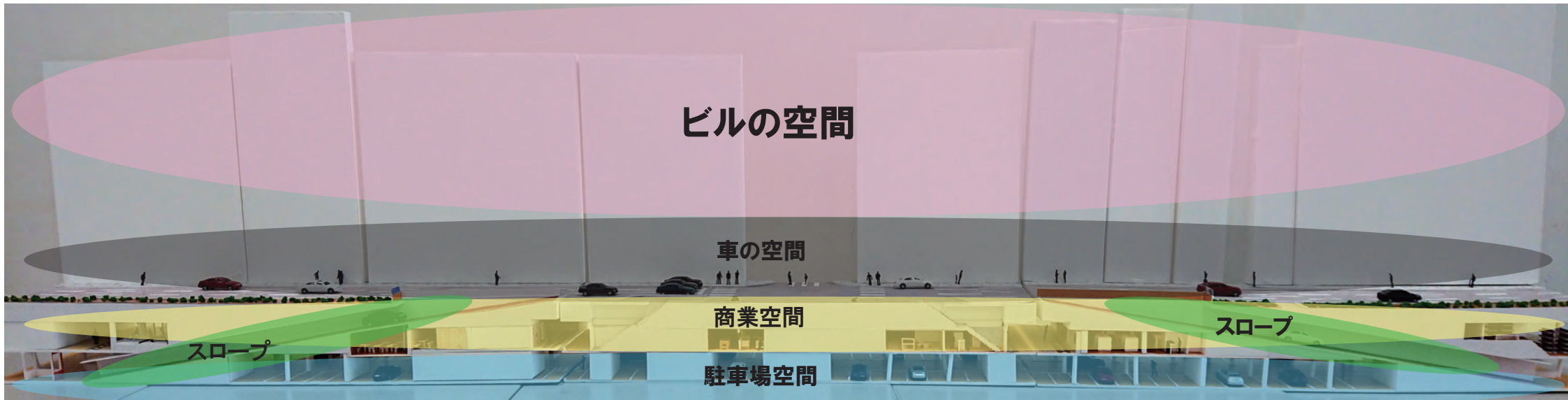
現地写真



模型写真



まとめ



八重洲を計測して模型に起こすことによって、
「地上の一般的なインフラ」と「地下のインフラ」が対比された空間を観察できた。

⇒地下としての空間自体も魅力的であるが、都市の中でこのような空間が埋没して、
地下（隙間）という空間にうまく場所を築き、それで一つの世界が完結している。
その関係性が面白いと考えた。